

# (防犯・防災通信) 緑 の 風

西町町会 防犯・防災部長



## ◇1月20日に、西町臨時防災講座が行われました。

公民館長より、令和6年能登半島地震で松本市は震度4であったが、どのような行動が必要であったのか、安否確認等はどうするのか、必要な備品等の準備について、建物の耐震等についてなど今回の実際に起こった地震に町内会員の皆様がどう対応し、どう考えたかを事例に沿って学び合いたい旨の相談があり、1月20日(土)に臨時に開催しました。

### ○テーマ 地震発生時の行動について

・参加者の皆様の率直なご意見では、揺れを感じた時にも特別な行動、姿勢等は取らなかった方がほとんどでした。

→講師からは・・・今回の地震で松本市は結果として震度4でした。換言すれば、揺れるものはあるものの驚く程度で、大きな被害は出ていないと思います。しかしながら、揺れ始めでそれが「大地震か否か」を判断するのは危険です。緊急地震速報が出ないからというのも結果論にすぎません。地震の予知は現状ではできないものと思って、最悪の状況を想定した行動が大事です。

・・・大地震は直下型地震でなければ、カタカタ、ガタガタ、ドーンになるまで8秒くらいかかります。あわてず①うさぎ(さがして)②ねずみ(はしって)③かめで(まもって)の話をしました。(子供の身をまもるための本：清永奈穂作、「おじしん さがして はしって、まもるんだ」(岩崎書店)より)

講座終了後、町会長より、「たいへん役に立つ絵本でした。町会会員宅で購入希望があれば町会より一部補助金を出すので、町内世帯に案内してほしい」との発言がありました。防災部長が後日広報します。

また、各家庭での災害時備蓄品の保管等について「町会 IENE」で紹介し、参考にしたり意識を高めるツールとしていきたい旨のご意見をいただきました。

⇒災害に備えることは、ご自身や家族を守り、町内を守ることになります。  
積極的な投稿をお願いします。

## ◇【防犯】

今回の能登半島地震でも被災地において、空き巣や窃盗、その他犯罪が発生しています。被災者の方をさらに傷つける悪質で、許しがたい犯罪です。これ以上犯罪が起きないように、祈ることしかできません。

## ◇【お願い】

被災地の皆様が、災害から一日も早く復旧復興できますように、西町町会の皆様もできる範囲で構いませんが、それぞれのお立場で義援金の拠出や災害地へのご支援等お願いします。

## ◇【防災】

松本市防災会議では、「防災士養成研修講座」の受講生を募集しています。

2023年度は終了となりますが、2024年度も引き続き数回の募集が見込まれます。

2023年の最終募集要項では、日時が2024年3月9日（土）～10日（日）松本大学にて行われます。受講費用は4万円かかりますが、**（城北地区防災連合会経由で申し込みをいただければ）全額補助の対象となります。**

防災士資格は民間資格です。防災士資格取得により特定の権利が得られる、もしくは行動が義務付けられるといったことはありません。あくまでも自発的な防災ボランティア活動を行うということです。

防災士資格は、研修を受け認定試験に合格し、普通救命講習を受講すれば取得できます。小学生が試験に合格した例もあります。また年齢制限もなく80代の方が防災士になった例もあります。

2023年12月末現在、全国で約28万人（男性約22万人、女性約6万人）長野県では3895人（長野市532人、松本市368人）が防災士登録となっています。

平常時の活動、災害時の活動、それぞれの状況や各人の置かれた立場で役割が果たせます。

関心のある方、ご質問等ある方は、防犯防災部長までお問い合わせください。



©防犯防災通信「緑の風」（カラー版）は、パソコン、スマホで読むことも可能です。

松本市のホームページから➡

地域の掲示板➡城北地区➡各町会から➡西町町会から、と進んでください

